



第72回HiHA Webinar

Hiroshima Research Center for Healthy Aging (HiHA)

主催: 広島大学健康長寿研究拠点

HIROSHIMA UNIVERSITY

「癌の遺伝子異常によるHippo経路制御機構」

安藤 俊範 博士

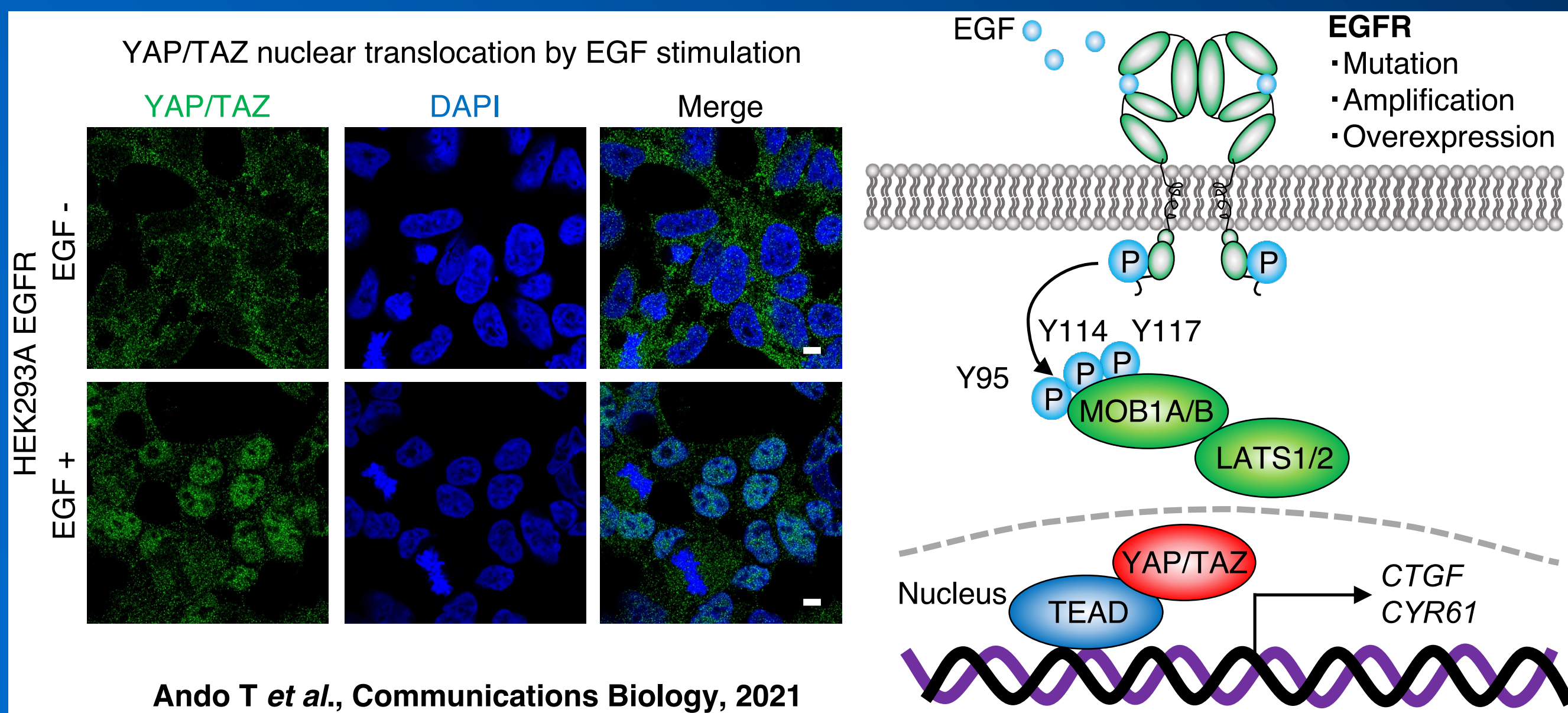
広島大学病院 口腔検査センター 助教

世話人: 上野 勝 准教授
大学院統合生命科学研究科
生命医科学プログラム

《概要》Hippo経路とその下流の癌遺伝子YAP/TAZは、細胞の増殖、組織・臓器形成において中心的な役割を担う細胞内シグナル経路である。癌では様々な遺伝子異常がHippo経路を制御することで、YAP/TAZが異常に活性化し癌細胞の増殖に寄与している。遺伝子異常とHippo経路の理解を進めることが癌治療に繋がると期待されている。例えば、頭頸部癌ではカドヘリンタンパクの一つであるFAT1の遺伝子異常がYAP/TAZの異常な活性化に寄与していることが報告されているが、YAP/TAZ活性化に寄与する遺伝子異常が他にも存在する可能性が示唆されていた。

頭頸部癌や肺癌では、細胞増殖に重要な受容体型チロシンキナーゼであるEGFRの遺伝子異常(遺伝子増幅や活性化変異)が知られており治療標的とされている。私は、EGFRの遺伝子異常がチロシンリン酸化を介してHippo経路を制御しYAP/TAZの活性化を導く詳細な機構を明らかにした(Ando T et al, Communications Biology, 2021)。

本セミナーでは上記の論文について紹介するとともに、癌における他の遺伝子異常とHippo経路を繋ぐ最新の研究についても紹介し、癌におけるHippo経路制御機構の新たな展開について議論していきたい。



本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です

開催日時: 令和4年 3月 3日(木) 15:00-16:00

Zoomによるwebセミナー

ミーティングID: 874 8121 3285

入室パスワード: 942988

お問い合わせ先

広島大学大学院統合生命科学研究科

HiHA事務局 (healthy-aging@hiroshima-u.ac.jp)